

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第46期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社オーイズミ

【英訳名】 OIZUMI Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大 泉 政 治

【本店の所在の場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297 - 2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【最寄りの連絡場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297 - 2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第45期 第2四半期 連結累計期間		第46期 第2四半期 連結累計期間		第45期	
		自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高	(千円)		5,234,464		5,611,684		13,193,387
経常利益	(千円)		434,346		552,350		1,745,459
四半期(当期)純利益	(千円)		291,194		374,260		1,062,106
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		201,494		396,964		1,206,229
純資産額	(千円)		12,210,459		13,499,637		13,215,195
総資産額	(千円)		22,888,115		23,091,570		23,709,687
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		12.94		16.64		47.21
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		53.3		58.5		55.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		471,503		305,249		1,021,343
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		465,132		312,137		780,668
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		561,951		421,504		256,591
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		2,650,331		3,950,675		3,522,283

回次		第45期 第2四半期 連結会計期間		第46期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日	自 至	平成25年7月1日 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		6.29		8.33

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（平成25年3月31日）に比べ618百万円減少し、23,091百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ382百万円減少し、12,025百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少（432百万円減）、商品及び製品の減少（336百万円減）の一方で、現金及び預金の増加（328百万円増）、仕掛品の増加（71百万円増）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ235百万円減少し、11,066百万円となりました。これは主に建物及び構築物（純額）の減少（269百万円減）、土地の減少（153百万円減）の一方で、投資有価証券の増加（157百万円増）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ902百万円減少し、9,591百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少（1,017百万円減）、未払法人税等の減少（400百万円減）の一方で、長期借入金の増加（533百万円増）によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ284百万円増加し、13,499百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（261百万円増）によるものです。

この結果、自己資本比率は58.5%と前連結会計年度末に比べ2.8ポイント増加しました。

(2) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高5,611百万円（前年同期比7.2%増）、経常利益552百万円（前年同期比27.2%増）、四半期純利益374百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高5,358百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益577百万円（前年同期比34.2%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、第1四半期に賃貸用不動産の一部について売却処分したことにより当第2四半期連結累計期間は売上高267百万円（前年同期比13.5%減）、セグメント利益175百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ428百万円増加し、3,950百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は305百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益609百万円の計上、減価償却115百万円の実施、売上債権の減少424百万円、たな卸資産の減少220百万円がある一方で、仕入債務の減少1,002百万円、法人税等の支払額598百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は312百万円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入100百万円、投資有価証券の売却による収入407百万円、有形固定資産の売却による収入490百万円がある一方で、有形固定資産の取得による支出130百万円、子会社株式の取得による支出502百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は421百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入1,500百万円の資金取得がある一方で、長期借入金の返済966百万円、並びに配当金の支払112百万円があったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は577百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社または提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における周辺設備機器の生産については著しい変動はなく、遊技機(パチスロ機)等の生産は増加しております。

これは、遊技機(パチスロ機)等はパチスロ機の販売に伴う増加であります。

なお、不動産事業は生産活動を行っておりません。

受注実績

当社グループでは機器事業におけるシステム機器製品については受注生産を行っております。当第2四半期連結累計期間において、著しい増減はありません。

なお、不動産事業は受注活動を行っておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における遊技機(パチスロ機)等の販売が増加しております。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、埼玉県深谷市内賃貸用物件を売却いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,500,000	22,500,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	22,500,000	22,500,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		22,500,000		1,006,900		673,700

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)オーイズミホールディングス	神奈川県伊勢原市伊勢原 2 - 5 - 43	10,420	46.31
大泉秀治	神奈川県厚木市	3,155	14.03
大泉政治	神奈川県厚木市	975	4.33
大泉賢治	神奈川県厚木市	604	2.69
田澤路子	神奈川県伊勢原市	485	2.16
オーイズミ従業員持株会	神奈川県厚木市中町 2 - 7 - 10	328	1.46
田中秀雄	神奈川県横浜市鶴見区	300	1.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内 2 - 7 - 1	300	1.33
オーイズミ取引先持株会	神奈川県厚木市中町 2 - 7 - 10	211	0.94
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲 2 - 10 - 17	210	0.93
計		16,990	75.51

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,474,900	224,749	
単元未満株式	普通株式 21,000		一単元(100株)未満株式
発行済株式総数	22,500,000		
総株主の議決権		224,749	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,500株(議決権15個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オーイズミ	神奈川県厚木市 中町2-7-10	4,100		4,100	0.0
計		4,100		4,100	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,622,283	3,950,675
受取手形及び売掛金	3,010,983	2,578,134
商品及び製品	1,244,317	907,752
仕掛品	938,838	1,010,450
原材料	1,783,427	1,777,968
繰延税金資産	108,573	80,443
その他	1,719,990	1,735,897
貸倒引当金	20,473	16,275
流動資産合計	12,407,940	12,025,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,162,004	1,892,816
土地	7,186,992	7,033,127
その他(純額)	170,051	179,810
有形固定資産合計	9,519,048	9,105,754
無形固定資産		
ソフトウェア	-	47,500
ソフトウェア仮勘定	27,150	-
その他	13,734	13,546
無形固定資産合計	40,884	61,046
投資その他の資産		
投資有価証券	1,275,337	1,433,160
繰延税金資産	2,256	1,294
その他	494,018	493,868
貸倒引当金	29,800	28,600
投資その他の資産合計	1,741,812	1,899,723
固定資産合計	11,301,746	11,066,523
資産合計	23,709,687	23,091,570
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,165,545	2,148,372
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,033,208	1,158,854
未払法人税等	605,342	204,504
賞与引当金	45,746	46,627
製品保証引当金	13,000	10,000
その他	298,631	289,521
流動負債合計	6,161,473	4,857,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債		
長期借入金	3,118,112	3,526,238
繰延税金負債	36,746	48,716
退職給付引当金	28,787	29,899
役員退職慰労引当金	448,972	453,616
負ののれん	767	-
資産除去債務	61,181	61,766
その他	638,450	613,817
固定負債合計	4,333,019	4,734,054
負債合計	10,494,492	9,591,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	11,486,993	11,748,774
自己株式	3,902	3,945
株主資本合計	13,163,691	13,425,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,504	74,208
その他の包括利益累計額合計	51,504	74,208
純資産合計	13,215,195	13,499,637
負債純資産合計	23,709,687	23,091,570

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,234,464	5,611,684
売上原価	4,077,154	4,310,188
売上総利益	1,157,310	1,301,496
販売費及び一般管理費		
販売促進費	16,414	106,975
役員報酬	93,778	95,598
給料手当及び賞与	104,145	112,360
賞与引当金繰入額	29,509	22,285
退職給付費用	14,360	13,066
役員退職慰労引当金繰入額	9,577	4,643
その他	476,600	432,384
販売費及び一般管理費合計	744,387	787,315
営業利益	412,922	514,180
営業外収益		
受取利息	1,624	1,795
受取配当金	14,517	14,367
その他	25,576	38,581
営業外収益合計	41,718	54,744
営業外費用		
支払利息	18,515	15,527
その他	1,779	1,045
営業外費用合計	20,294	16,573
経常利益	434,346	552,350
特別利益		
固定資産売却益	10,407	28,533
投資有価証券売却益	-	28,403
特別利益合計	10,407	56,936
税金等調整前四半期純利益	444,754	609,287
法人税、住民税及び事業税	172,582	207,480
法人税等調整額	19,023	27,547
法人税等合計	153,559	235,027
少数株主損益調整前四半期純利益	291,194	374,260
四半期純利益	291,194	374,260

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	291,194	374,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,700	22,704
その他の包括利益合計	89,700	22,704
四半期包括利益	201,494	396,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,494	396,964

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	444,754	609,287
減価償却費	114,722	115,881
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,240	5,398
製品保証引当金の増減額(は減少)	1,000	3,000
賞与引当金の増減額(は減少)	16,010	881
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,646	1,111
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9,577	4,643
受取利息及び受取配当金	16,141	16,162
支払利息	18,515	15,527
投資有価証券売却損益(は益)	-	28,403
売上債権の増減額(は増加)	459,804	424,118
たな卸資産の増減額(は増加)	949,850	220,226
仕入債務の増減額(は減少)	692,583	1,002,056
その他	258,458	43,588
小計	384,204	293,069
利息及び配当金の受取額	16,919	16,167
利息の支払額	18,428	16,068
法人税等の支払額	85,791	598,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	471,503	305,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	100,000
投資有価証券の売却による収入	-	407,804
有価証券の償還による収入	300,000	-
有形固定資産の取得による支出	540,716	130,200
有形固定資産の売却による収入	86,842	490,447
無形固定資産の取得による支出	-	22,849
貸付けによる支出	300,200	30,000
貸付金の回収による収入	3,150	7,999
子会社株式の取得による支出	17,800	502,000
その他	3,591	9,065
投資活動によるキャッシュ・フロー	465,132	312,137
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	700,000	-
長期借入れによる収入	500,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	570,498	966,228
自己株式の取得による支出	13	42
配当金の支払額	67,536	112,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	561,951	421,504
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	374,684	428,391
現金及び現金同等物の期首残高	3,025,016	3,522,283
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 2,650,331	¹ 3,950,675

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定 預入期間が3か月を 超える定期預金	2,650,331 千円 千円	3,950,675 千円 千円
現金及び現金同等物	2,650,331 千円	3,950,675 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	67,487	3	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	112,479	5	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,941,536	292,928	5,234,464		5,234,464
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		16,320	16,320	16,320	
計	4,941,536	309,248	5,250,784	16,320	5,234,464
セグメント利益	430,491	213,711	644,203	231,280	412,922

(注) 1 セグメント利益の調整額 231,280千円は、親会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,358,755	252,928	5,611,684		5,611,684
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		14,700	14,700	14,700	
計	5,358,755	267,628	5,626,384	14,700	5,611,684
セグメント利益	577,765	175,779	753,544	239,364	514,180

(注) 1 セグメント利益の調整額 239,364千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12円94銭	16円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	291,194	374,260
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	291,194	374,260
普通株式の期中平均株式数(株)	22,495,927	22,495,841

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社オーイズミ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 市川 一郎 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 内野 福道 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーイズミの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーイズミ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。